第6期の募集について

募集期間	令和3年6月28日(月)～7月30日(金)
受講期間	令和3年8月20日(金)～11月19日(金)
受講時間	9:30～16:00(12:00～13:00は昼休憩とします)
場所	【基　礎　編】「zoom」を利用したオンライン授業を予定 【現場実習編】受講される方のご勤務先
募集定員	10名
受講対象	■都内中小製造事業者の現場責任者、または幹部候補の方 ■生産管理や生産技術に関する経験があり、生産性向上の取り組みについて予備知識を有する方 ■PCの入力作業の経験がある方
受講料	10万円(税込)

スクール利用企業の声

株式会社今野製作所
執行役員 業務本部長　今野 三千代 氏

弊社では、これまでに3名をTPIスクールに派遣しました。このスクールで学んだメンバーが、社内に増えることで、現場改善・革新の共通言語を持ち、前向きに課題解決に取り組む体制ができたました。特に、昨年はコロナの影響によりZoomでの開催となり、他社でなく自社での現場改善実習になりました。しかし、受講生が自社の改善課題にインストラクターとじっくりと取り組み、新たに、これまでにない良い点も感じました。また、『モノと情報の流れ図』を使い全体最適の視点から業務を見直し、解決すべき課題を絞込み、具体的な対策案だけでなく、今後3ヵ月の展開計画まで提案がありました。そのため、弊社では、この3ヵ月計画を実行するにあたり、スクール終了後にインストラクター派遣制度を活用し取組み、メンバーの継続的な学びと大きな成果を得ることができました。

株式会社オータマ
製造部 部長　髙橋 徹也 氏

小さな町工場から成長をしてきた弊社は、生産性改善・革新のための手法や用語さえも知らない社員も多く、これからの企業を支える中核人材を計画的かつ体系的に育成することが急務であり、このTPIスクールを受講させることにしました。カリキュラムの構成は、全体最適の視点(鳥の目)から、「モノと情報の流れ」等を作成して問題点を的確に絞込み、さらに「ＩＥ」「ＱＣ」手法などを活用し、細かく分析(虫の目)して真因を掴み改善を進める流れは、理解しやすく効果性も高いと思います。また、自社での現場実習は、インストラクターの指導を受けながら大変苦労したようですが、スクール終了後も参加メンバーが、学んだことを自分の担当業務に活用しており、大変有意義な経験が出来ました。貴重な経験が出来るスクールとして、多くの企業で利用して欲しいと思います。

公益財団法人 東京都中小企業振興公社

総合支援部 総合支援課
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町1-9
東京都産業労働局秋葉原庁舎5F
TEL:03-3251-7917
E-mail:seisansei@tokyo-kosha.or.jp
ホームページ:http://www.tokyo-kosha.or.jp/
● JR「秋葉原駅」中央改札口徒歩1分

令和3年6月作成。本紙の内容は、予告なく変更する場合がございます。

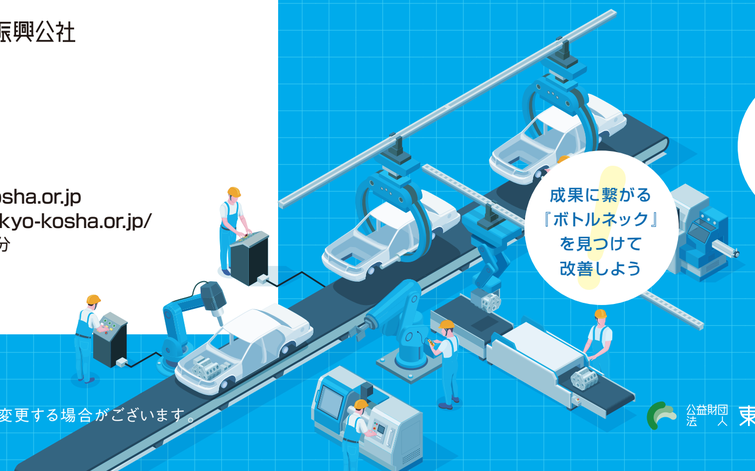
募集期間
令和3年
6月28日(月)～
7月30日(金)

さぁ、進めよう
生産性革新!!

TPi Tokyo Productivity Innovation School　第6期受講生募集案内

東京都生産性革新スクール

モノづくりの良い流れを創り出す
中核人材を育成する



公益財団法人 東京都中小企業振興公社

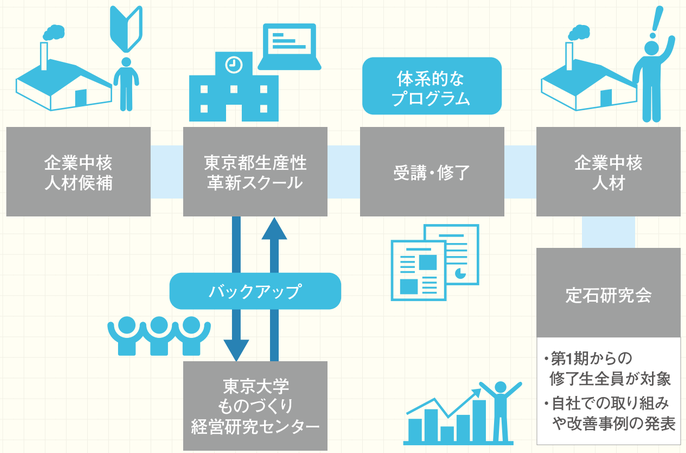
『東京都生産性革新スクール』とは？

新たな付加価値を生み出す中核人材の育成を目指して

当スクールは、中小企業の持続的な成長において新たな付加価値を生み出す「生産性の革新」を担う「中核人材」の育成が重要と考え、平成28年の開講から第5期まで運営して参りました。この間にも、IoT・ロボット等の技術革新や導入が進み、さらに新型コロナウイルスの感染拡大により、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しています。
このような状況の中、これまでのスクールの良い点を活かしながら、状況に合わせて講義内容や講義方法を改善し、第6期スクールを開講いたします。

当スクールの概要と特徴

当スクールは「東京大学ものづくり経営研究センター」（主任講師：藤本隆宏 元東京大学大学院教授／現早稲田大学教授）のバックアップのもと、「良い設計の良い流れ」を意識した現場実習を含む体系的なプログラムをご用意しています。また、講義については、上記のセンター実施の東京大学ものづくりインストラクター養成スクールを修了した、現場支援の経験が豊富な講師陣が担当します。
当スクール修了後、各期の修了生が自社での取り組みや成果を発表する『定石研究会』に参加することで、他社の改善事例を相互に学習することができます。



申込み・受講の流れ

1. お申込み

申込書をHP（右記QRコード参照）よりダウンロードして頂き、必要書類を7月30日(金）までに（公財）東京都中小企業振興公社 総合支援部総合支援課 生産性向上担当宛にお送り下さい。

2. 受付

先着順にお申込みを受け付けます。
※受講対象に該当しない企業様はお断りする場合があります。

3. 受講決定／受講料振込

受講が決定された方は、開講日までに指定する口座へ受講料をお振込み下さい。

4. 開講

受講期間は令和3年8月20日(金）から11月19日(金）までの全19日間です。各受講毎に1週間前を目途に教材を郵送致します。

5. 修了

※全体の出席率が8割に満たない場合、修了証の発行をしない場合があります。

6. 自社の生産性革新へ

7. 定石研究会（対象：全修了生）

受講方法　ZOOMを使って全てオンラインで実施いたします

受講前の事前準備

■PCやタブレット等の端末（PC推奨）とインターネット環境、メールアドレスが必要です。
■ご勤務先でのWeb環境で受講が難しい場合、ご相談ください。
■その他Webセミナーの注意事項については HP掲載の受講規約をご確認ください。

第6期カリキュラムと講師

特色
- 「良い設計の良い流れ」を意識した体系的なプログラム
- グループワーク、事例研究を通して実践的に学べるカリキュラム
- 前半の基礎編で得た知識をすぐに自社の改善に活かせる構成

カリキュラム

※①講演の内容は予定なく変更する場合があります。　※②15:30～16:00まで次回の講義の予習等を行う予定です。
※③基礎編・現場実習編両方の受講をお願いします。

基礎編（座学・グループ実習）　▼9:30　12:00▼13:00　16:00▼

No.	実施日	ねらい	午前		午後		プレ講習（予習）
1	8月20日(金)	概論	開講式	ものづくり基礎概念	競争力と企業パフォーマンス	品質管理の基礎	次回の予習等
2	8月27日(金)	概論	納期・工程	在庫管理	QCの基礎知識と活用		
3	9月 3日(金)	基礎	QCの基礎知識と活用（グループワークを含む）		IEの基礎知識と活用		
4	9月10日(金)	基礎	IEの基礎知識と活用（グループワークを含む）		IEの基礎知識と活用（標準作業と準備時間）		
5	9月17日(金)	基礎	ものづくり会計（基礎編）		VA / VEの基本知識と活用		
6	9月24日(金)	基礎	現場改善の進め方（基礎編）			（企業の現場を知る）	
7	10月 1日(金)	実践	生産性改善の流れ（特別講話）		全体最適による問題解決		
8	10月 8日(金)	実践	全体最適による問題解決（事例によるワークショップ）				
9	10月15日(金)	特別講義	特別講義1（AI活用で生産性向上）		特別講義2（IoTの現場活用）		
10	10月20日(水)	実践（VTR活用）	現場改善の進め方（活用編）	企業改善事例（VTR）を活用したグループ実習(1)			
11	10月22日(金)	実践（VTR活用）	企業改善事例（VTR）を活用したグループ実習(2)		報告会	現場実習事例紹介と解説	

現場実習編（インストラクターと共に自社の現場改善）

No.	実施日	ねらい	内容	
12	10月27日(水)	現場実習（各企業）	企業・現場実習(1-1)	問題点の抽出
13	10月29日(金)	現場実習（各企業）	企業・現場実習(1-2)	ものと情報の流れ図（現状）・兆候の絞込み
14	11月 3日(水)	現場実習（各企業）	企業・現場実習(2-1)	問題点の深掘り
15	11月 5日(金)	現場実習（各企業）	企業・現場実習(2-2)	兆候シート・改善策の検討
16	11月10日(水)	現場実習（各企業）	企業・現場実習(3-1)	もとの情報の流れ図（狙うべき姿）
17	11月12日(金)	現場実習（各企業）	企業・現場実習(3-2)	報告資料作成（今後の計画を含む）
18	11月17日(水)	現場実習（各企業）	現場実習・報告会（各企業別）	
19	11月19日(金)	報告会	現場実習・報告会（全体）／修了式	

※報告会で発表して頂く資料は、受講生自身でPCにて作成して頂く必要があります。

講師、インストラクター紹介

主任講師　竹中 秀夫
グンゼ（株）出身。現場での生産管理・改善活動を経て、生産性向上、教育、人事と広範囲な業務に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第11期修了。

講師　国谷 晃雄
キヤノン（株）取手工場生産技術部長他、ものづくり現場を歴任。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第1期修了後、国内外において生産性革新活動を支援。

講師　堀井 求
キヤノン（株）出身。ものづくりにおける「淀みのない流れづくり改善」をモットーに現場改善に従事。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第2期修了。

講師　本堂 一郎
（株）日立製作所出身。開発・設計・製造・海外市場開拓等に従事。現場改善の支援実績多数。東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第10期修了。

講師　伊藤 雄三
山形大学特任教授、米国系精密濾過フィルターメーカーにて、経営全般、工場運営に関与する。多くの企業の現場改善指導や経営アドバイスを実施している。ものづくりシニア塾1期修了。

講師　飛田 甲次郎
元オムロン株式会社執行役員常務。関西IE協会副会長日本電機工業会大阪支部長などを歴任。全体最適のマネジメントに関する最新知識をわかりやすく説明することに定評がある。

講師　柊 紫乃
愛知工業大学・経営学部 経営学科教授。博士（経営情報科学）、専門はものづくり管理会計など。実際の企業現場での議論・分析から、理論の構築と検証を行う。

インストラクター　石戸谷 徹
大崎電気工業（株）出身。約30年間、新製品の研究開発、生産ラインの立ち上げ、製品のマーケティングに従事。ものづくりシニア塾第1期修了。

※講義（座学）担当講師及びインストラクターは、参加人員等により増員、変更になる場合があります。